

 札幌市清田区平岡2条5丁目4番10号 TEL: 883-3761 FAX: 883-9437 http://www.hiraoka-j.sapporo-c.ed.jp/ E-mail hiraoka-j@sapporo-c.ed.jp	札幌市立平岡中学校 学校だより 令和7年3月15日 第6号
---	--

第40回 卒業証書授与式 式 辞

学校長 高橋 正幸

マロニエの並木道は、いつもより早く雪が解け始め、確実に春の訪れを感じる季節となったこの佳き日に、PTA会長 川尻和希様、小学校の校長先生をはじめ、日頃からお世話になっております地域や関係機関の皆様、学校評議員・PTA役員の皆様のご臨席、並びに、ご家族の皆様のご出席を賜り、ここに、節目となる第40回卒業証書授与式を盛大に挙行できますことを、心より厚くお礼申し上げます。

とりわけ、ご家族の皆様におかれましては、お子様が生まれてから、義務教育の卒業である本日を迎えるまで、毎日、健やかな成長を願い、心温かく支えてくださったことと思います。本日のお子様のご卒業は、たいへん感慨深いものがあると感じ、心からお祝いを申し上げます。おめでとうございます。

182名の卒業生の皆さん、改めて、卒業おめでとうございます。今日は、皆さんが、9か年の義務教育を終え、新たな旅立ちの時を迎える日でもあります。心交わした友だちや先生方に別れを告げ、通い慣れた校舎を後に、自分自身が選んだ、新たな道への第一歩を踏み出すことになります。

さて、少し話は変わりますが、スティーブ・ジョブズという名前を知っている人も多いと思います。「りんご」のマークで知られるスマートフォンやタブレットなどの電子機器を製造するアップル社の創始者の一人です。このスティーブ・ジョブズがスタンフォード大学の卒業式に招かれて行った、講演のスピーチがあります。その中で、彼は、自分の人生を振り返ってこんな言葉を残しています。「将来を見据えて、点と点を繋ぎ合わせることはできません。できるのは、後からつなぎ合わせるだけです。」この言葉の意味を、私の中では、次のように捉えています。

前半の「将来を見据えて点と点を繋ぎ合わせるができない」という部分は、皆さんの今後の人生において、予測ができないことが起こっても、その場の状況で自分の力や、周りの人の力を借りながら、乗り越えていく力が必要だということです。もちろん、これからの人生に期待や不安

もあるかと思いますが、昨年7月の講演に来ていただいた本校卒業生の 明楽隆志 さんがお話ししてくれたように、「最初の一步」を、勇気をもって踏み出してほしいと思います。

後半の「できるのは、後からつなぎ合わせるだけです。」の部分は、自分の今までの人生を振り返り、自分に起こった様々な出来事を繋ぎ合わせることによって、今の自分の存在を感じることができるといことです。そして、今の自分の姿を見つめることによって、今まで自分を支えてくれた家族の方々をはじめ、全ての人に、感謝の気持ちが湧いてくるのだと思います。ぜひ、皆さんにも、それぞれの「感謝」の気持ちを大切にしてほしいと思います。

卒業生の皆さんは、平岡中学校にとっての誇りです。自信をもって、この校舎を旅立ってほしいと思います。それぞれの場所で、皆さんが元気に活躍している姿を願っております。

そして、皆さんの未来が永遠に輝いていくことを、私も遠くから応援しています。

在校生の皆さん、3年生とは今日をもってお別れになります。今、皆さんの目の前にいる卒業生の姿が、皆さんの1年後、2年後の姿となりますように、学校行事や部活動など、様々な活動を通して、3年生の先輩から受け継いだ財産を今度は、皆さんが後輩へしっかりとつないでいてください。

結びになりましたが、保護者の皆様には、これまで本校の教育に温かいご理解とご支援を賜りましたことを、高い席からではありますが、厚くお礼を申し上げます。

また、ご来賓の皆様には、今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げ、更には、卒業生の皆さんの夢や希望があふれる前途を祝して式辞といたします。



祝 辞

PTA会長 川尻 和希

PTAを代表致しまして、お祝いの言葉を申し上げます。

本日は卒業おめでとうございます。並びにお子様の晴れの日を迎えられた保護者の皆様にもお祝い申し上げます。また、本日はご多忙の中、多くのご来賓の皆様を始め、地域の皆様方にご臨席を賜り、心よりお礼申し上げます。

卒業生の皆さん、3年間の学校生活を振り返ると、勉強や部活動、学校行事などたくさん思い出がある事と思います。いろいろな景色を見て、たくさん学んで、たくさんのお会いがあったと思います。その度に楽しくて幸せな日々、辛くて、悔しくて苦しんだ日々、色々な日々を繰り返し毎日少しずつ、ゆっくりでも、昨日の自分を乗り越え成長してきたはずで。3年間その小さな成長を繰り返して、皆さんは今、3年前の自分とは比べ物にならないほど立派に成長しました。

卒業し、これから新たなステージに行けば、人間関係や勉強と数え上げればキリがない程、不安な事はたくさんあると思います。今まで見たこともない大きな壁にぶち当たることもあるでしょう。しかし、ここ平岡中学校で学んだ事、友達と過ごした時間、失敗し、努力して、成功した経験は必ず皆さんの力となります。

どんなに険しい道を進まなきゃ行けなくても、早くでも、ゆっくりでも進み続けていれば、まだ見たこともない素敵な景色が待っているはずです。皆様の今後の活躍を楽しみにしております。

保護者の皆様、改めまして、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。また、3年間のPTAのご理解とご協力を賜りました事にあらためて、お礼申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ先生方、子供達を愛情深くご指導くださり誠にありがとうございました。3年間でここまで成長できたのも先生方のご指導の賜物だと感謝しております。子供達に優しく、時に厳しくご指導いただき誠にありがとうございました。卒業生みなさんの輝ける素敵な未来とご来場の皆様のご多幸を祈念致しましてお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

送る言葉

在校生代表 2年4組 表ゆずは

例年よりも幾分暖かい冬にも終わりが近づき、春の足音が徐々に聞こえてまいりました。温かな日差しが、今日という日をたたえているように感じられます。

このような良き日に平岡中学校を旅立たれる3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、お祝いの言葉を申し上げます。

皆さんは、今までの中学校生活をどのように振り返っていらっしゃるでしょうか。入学してから多くの人と出会うことで、色鮮やかな思い出を築き上げ、大きな成長を遂げられたと思います。

思い起こせば、まだ幼く、緊張した面持ちで入学してきた私達に、先輩方はどんなときも模範を示してくださいました。学校行事や部活動においては、私達を気遣いながらも技術や心構えを鍛えてくださいました。委員会などの生徒会活動においても、何をすればよいかわからずに戸惑っていた私達を優しくリードし、力強く支えてくださいました。皆さんが何事にも一生懸命、全力で取り組み、あきらめずに突き進む姿は、私達に多くの学びを与えてくれました。

この先、先輩方が歩む未来は、たくさんの楽しいことや希望に満ち溢れていることと思います。もちろん、時には辛く苦しい壁が待ち受けていることもあるかもしれませんが。そんなときは、少し休んでみてもよいのではないのでしょうか。それからまたゆっくり歩き出せばよいのですから。

私達、在校生が贈る合唱曲「空高く」には「歩き出す勇気を持とう いつか必ず叶う夢もあるから」という歌詞があります。歩き出す勇気を持つのが難しいときには、周りに頼ってください。皆さんは絶対に一人ではありません。周りには先生方、私達後輩、そして一番近くで見守ってくださっているご家族の皆さまがいます。みんな、ずっとずっと、いつまでも応援しています。だから、あきらめないで、一歩踏み出してみてください。いつか必ず、叶う夢もあるから。

最後になりましたが、卒業生の皆様の益々のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。本日は、ご卒業、誠にありがとうございます。

お別れの言葉

在校生代表 3年5組 渡辺萌々夏

冷たい風の中にも、柔らかな日差しが注ぎ、春の訪れが感じられる季節となりました。

今日、私達3年生182名は平岡中学校を卒業します。お忙しい中、ご出席頂きましたご来賓並びに、保護者の皆様、教職員の皆様、本日は私達のために素晴らしい式を催していただき、誠にありがとうございます。また、先程より心温まるお言葉をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

今一度、これまでの学校生活を振り返ってみると、入学してからのこの3年間は、瞬間に過ぎていきました。3年前の春、私たちは真新しい制服に身を包み、不安と期待に胸を膨らませ入学しました。小学校とは違う環境に戸惑いも感じていました。しかし、仲間や先生方の存在が、私にとって大きな支えとなりました。

在校生の皆さんは、これから中学校生活を送る上で、物事がうまく進まないときがあるかもしれません。そんな時、周りに目を向けてみると、どんな状況でもあなたの味方になってくれる人が必ずいるでしょう。「頼り合う」ということを大切にして、どんな困難にも負けず、前に進み続けてください。

今、私達がこうして卒業式を迎えられているのは、先生方のおかげです。今日までの3年間、温かく、時には厳しく指導していただき、ありがとうございました。先生方から学んだことを胸に刻み、これから繋いでいきます。また、今日まで私達を支え、育ててくれた家族。一番近くで、親身になって話を聞いてくれた家族のおかげで、今の私達がいます。これから先も、たくさん心配や迷惑をかけてしまうと思いますが、私達は努力を止めずに歩いていくので、応援してくれると嬉しいです。

そして、3年間共に中学校生活を過ごした皆さん。陸上競技大会や球技大会では、勝っても、負けても相手に対して敬意を払うことで、勝敗に関係なく楽しむことができました。当たり前を普段からできる姿勢がこの学年の良さだと感じています。他愛もない会話で教室中に響いていた笑い声、そんな日常が今日で終わってしまうことが未だに実感できません。私は正直、まだまだみんなで笑い合っていたい、もっと話していたいという気持ちで溢れています。しかし、4月になれば、私達はそれぞれの道へと進んで行くことになります。その道中には、たくさんの出会い、新しい経験などが待っています。大きな壁にぶつかることも多々あると思います。そんな状況に対して、怖気付くのではなく、新しい仲間や中学校で得た学び、経験を糧に力強く前に進んでいきたいです。今日まで共に歩み続け、時には競い合うことで成長できた仲間には、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、本日ご列席頂きました全ての方のご健康とご多幸、そして平岡中学校の益々のご発展とご活躍を心から祈念し、お別れの言葉とさせていただきます。